

シンプルロガー C-CR200X

概要

C-CR800 などの上位機種に比べ、かなり機能を絞った経済的なモデルです。チャンネル数などが少なく、レンジが固定など制限がありますが、チャージコントローラーが本体に付属し、動作温度レンジも広いなど、限られた条件ではハイコストパフォーマンスを発揮します。



C-CR200X

C-CR800、C-CR1000 との違い

- シングルエンド計測のみ(差動(DIFF)測定がない)
- メモリーが標準で 500kB
- プログラムで使用できる変数の数が 128 まで
- 保存テーブル数が 8 まで
- 通信ポートが PC のみ
- アナログ入力レンジが 0-2.5V(分解能 0.6mV)のみ
- チャージコントローラーが付属しているので、太陽電池とバッテリーを直接接続可能

特徴

C-CR200X は C-CR-200 の後継機で、C-CR800 の機能を省いたプログラム可能な省チャンネルのフィールド用データロガーです。太陽電池と鉛電池を直接接続することが可能で、限定した用途を想定しています。多チャンネルの複雑測定には、別に C-CR1000 という、標準ロガーをご用意しています。

基本仕様

インターバル	1秒～
記憶容量	メインメモリー(フラッシュ) 500kB プログラム領域:19.6kB
インターフェース	COM:RS-232C Packbus 通信速度 9600bps 1stop 8data None
時計精度	8.2分/月(-40～+50℃)、1分/月(+25℃)
電源	標準 7-16VDC(通常 12VDC 供給、逆接保護付)
消費電流	スリープモード:0.2mA 以下、測定時:3mA 以下
充電仕様	0.9A@+20℃ 0.65A@+50℃ 推奨電池容量:7Ah12V 以下 チャージ入力:16-20Vdc 太陽電池:10W 以下
寸法	本体:140L×176W×51H 重量:270g
動作環境	標準タイプ:-40～+50℃(標準)
プログラム言語	CR-BASIC
内部プログラム	サポートソフト(Logger net V3.4 以後)にて作成。専用関数多数
データ保存	IEEE4 形式のみ TABLE は 8 個まで

入力・出力仕様

アナログ入力/レンジ	SE 5ch(差動なし) 12bitA/D/レンジ 0-2.5V固定 分解能 0.6mV
精度	代表精度 ±0.25%(-40～+50℃) 1.2mV オフセット 最悪精度 ±1%(-40～+50℃) 2.4mV オフセット
入力種類	直接入力:電圧 ブリッジ計測:3線ハーフブリッジ測定(2.5V EXC 使用) 平均周波数:最大電圧 4VDC 0-150kHz
プログラマブル定電圧出力	2ch(0-5V) 2.5Vdc / 5Vdc 2 出力選択 駆動電流:±25mA(+2.5Vdc range) 10mA(+5Vdc range) 精度±25mV(2.5Vdc range) ±125mV(+5Vdc range)
コントロール電源	1ch(12V/300mA)
デジタルI/O	2ポート C1,C2 出力電圧:high:5V、low:0V 1.5mA@4.5V 入力電圧:high:2.7V、low:<0.9V SDI-12:1ch C1 に接続
パルス入力	スイッチパルス入力(P_SW) パルス入力(C1,C2, P_SW) ACパルス入力(P_LL)
注意	CF カードなどは使用できません ストレージモジュール(SM4M / SM16M)や CR10KD は使用できません
使用不可能センサー	Pt 温度センサー、熱電対センサー、mV 出力の日射センサー、他